

# 台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に  
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、  
自宅の災害リスクととるべき行動を  
確認しましょう。

## 避難行動判定フロー（手順）

あなたがとるべき避難行動は？ **必ず確認しましょう**

ハザードマップ(\*)で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

(\*) ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどに住んでいる人は、市からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、  
自宅の外に避難が必要です。

例外

浸水の危険があっても、次の場合は、自宅にとどまり安全を確保することも可能です。  
①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である  
②浸水する深さよりも高いところにいる  
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食料などの備えが十分にある場合は屋内安全確保（自宅に留まり安全確保すること）も可能です。

ご自身または一緒に避難する人は避難に時間が掛かりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親せきや知人はいますか？

はい

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、安全な親せきや知人宅に避難しましょう（日ごろから相談しておきましょう）。

いいえ

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、市が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう。

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親せきや知人はいますか？

はい

警戒レベル4避難指示が出たら、安全な親せきや知人宅に避難しましょう（日ごろから相談しておきましょう）。

いいえ

警戒レベル4避難指示が出たら、市が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう。